

第5期雄武町総合計画 前期実施計画書 兼 事務事業事後評価調書

No. 0902014

政策目標	1 はつらつ・雄武～地域産業の振興～	会計区分	1 一般会計	【全体計画内容】※前期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	2 林業の振興	事業優先度	B	
単位施策	2 多面的機能の発揮	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)	
事業名	みどりと親しむ町民のつどい	見直し年度		
事業期間	平成20年度～平成24年度	担当課	9 産業振興課	
事業主体	雄武町	関係課	#N/A	
事業指標	みどりとふれあい		#N/A	
事業目標	参加人数 70人	ハード/ソフト 事業区分	2 ソフト事業	
住民参加 住民協働	1 植樹祭の開催	関係例規・法令名		
		関係個別計画名		

122	全体計画 事業内容	平成 20 年度 事業内容	平成 21 年度 事業内容	平成 22 年度 事業内容	平成 23 年度 事業内容	平成 24 年度 事業内容	
計 画 内 容	・植樹祭の開催	植樹祭の開催	植樹祭の開催	植樹祭の開催	植樹祭の開催	植樹祭の開催 植樹祭会場下刈	
計 画 事 業 費	事業費(千円)	4,120	500	1,070	800	950	
	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
その他	187		187				
一般財源	3,933	500	883	800	800	950	
実 績 事 業 費	事業費(千円)	3,686	292	1,040	756	874	
	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
その他	195		195				
一般財源	3,491	292	845	756	724	874	
関 連 事 項	(特定財源の詳細等)		(実施内容等) 植樹祭の開催 参加人数 80人	(実施内容等) 植樹祭の開催 参加人数 100人	(実施内容等) 植樹祭の開催 参加人数 77人	(実施内容等) 植樹祭の開催 参加人数 77人	(実施内容等) 植樹祭の開催 参加人数 79人 植樹祭会場下刈
	【評価・実績】		※前年度評価結果 A-継続/現状維持	※前年度評価結果 A-継続/現状維持	※前年度評価結果 A-継続/現状維持	※前年度評価結果 A-継続/現状維持	※前年度評価結果 A-継続/現状維持
	第4期総合計画関連 (継続有り)	年度目標値	参加人数 70人	参加人数 70人	参加人数 70人	参加人数 70人	参加人数 70人
	年度達成率	58%	97%	95%	91%	92%	
	全体達成率	7%	32%	51%	68%	89%	
事業進捗状況	☆☆☆☆	☆☆☆☆☆	☆☆☆☆☆	☆☆☆☆☆	☆☆☆☆☆	☆☆☆☆☆	

事業名	みどりと親しむ町民のつどい	評価者 管理職 職氏名	産業振興課長	石井 弘道
		評価者 作成者 職氏名	林務係長	福田 泰弘

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町民	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	参加人数70人								
【抱える課題やニーズは】	自然とのふれあいや環境問題への関心が高まっている状況にある。	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値								
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	植樹や育樹の緑化活動	① 実績人数 /植樹祭参加人数の実績	<table border="1"> <tr> <td>目標年度</td> <td>平成24年度</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>70人</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>79人</td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>112.9%</td> </tr> </table>	目標年度	平成24年度	目標値	70人	実績値	79人	達成度	112.9%
目標年度	平成24年度										
目標値	70人										
実績値	79人										
達成度	112.9%										
【その結果、どのような成果を実現したか】 ※成果=目的	町民の緑化思想の高揚を図り、「みどり」の大切さを理解し、守り育てる人づくりを進めることができる。	②	<table border="1"> <tr> <td>目標年度</td> <td>年度</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td></td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>#DIV/0!%</td> </tr> </table>	目標年度	年度	目標値		実績値		達成度	#DIV/0!%
目標年度	年度										
目標値											
実績値											
達成度	#DIV/0!%										
【内容(どのような手段で何をを行ったか)】	①植樹	オホーツク総合振興局西部森林室が協賛となり、生環林周辺で「第19回みどりと親しむ町民のつどい」を開催。									
	②植樹祭会場下刈	植樹した苗木の健全な育成を図るために、苗木の周囲に繁茂して苗木の生育に支障となる笹・草の刈り払いを行う事業を実施。									

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	自然とのふれあいや環境問題への関心が高まっている状況にあり、緑豊かな住みよいまちとして発展させるために、「みどり」に対する意識の高揚を図る植樹祭を開催する必要がある。当該事業を実施しない場合、町民の緑化思想の高揚に影響を及ぼす。
必要/概ね必要/課題あり	<input type="checkbox"/>	全部	
	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	町民の緑化思想の高揚が図られ、「みどり」の大切さを理解し、「みどり」を守り育てる人づくりに寄与した。
有効/概ね有効/課題あり	<input checked="" type="checkbox"/> 達成	
	<input type="checkbox"/> ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	オホーツク総合振興局西部森林室と協賛して取り組むことによって、スコープ等の用品費用が不要になるなど事業費の抑制が図られた。
効率的/概ね効率的/課題あり	<input type="checkbox"/> 事業費抑制	
	<input type="checkbox"/> 人員削減	
	<input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減	また、必要最小限の経費で実施するように努めている。
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

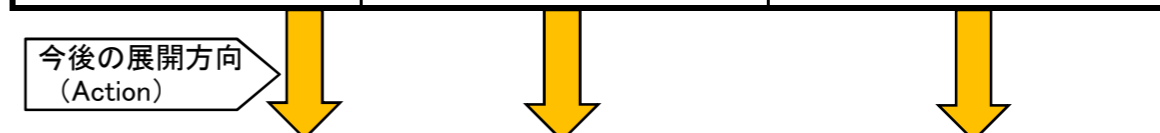
公平	判断の理由	一般町民を対象としているので公平である。
公平/概ね公平/公平でない	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
 B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
 C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
 D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
自然とのふれあいや環境問題への関心が高まっている状況にあり、今後も継続して緑化活動を推進していく必要があるため、計画どおり事業を進めることが適当と判断する。		



継続/現状維持		
地域住民の自然保護意識、環境保全意識の高揚を図りながら、快適環境の創造に努める事業であるため、引き続き最優先して実施すべき事業であり、当分は現状維持が適当である。		

※展開方向の区分
 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
 終了 休止 廃止